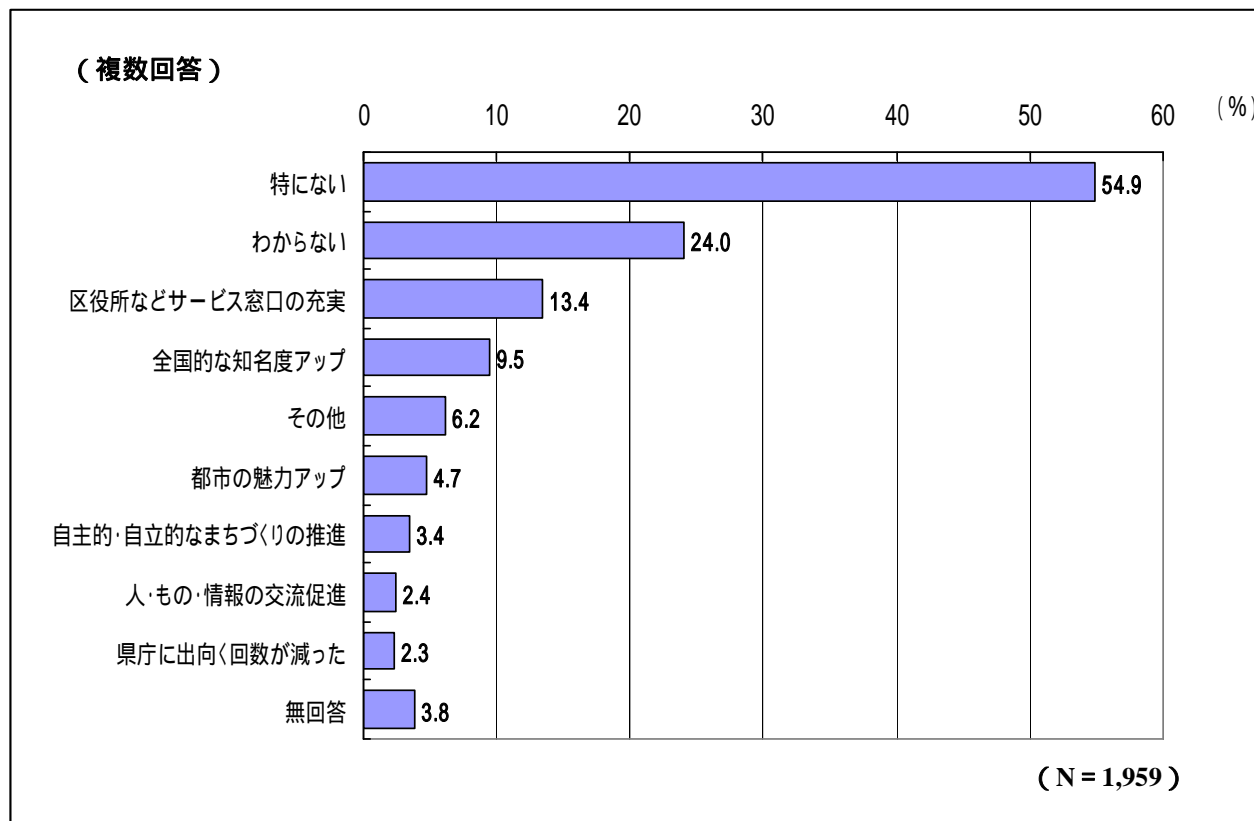


第3章 政令指定都市になった岡山市について

(1) 政令指定都市移行について

「特にない」54.9%、「わからない」24.0%

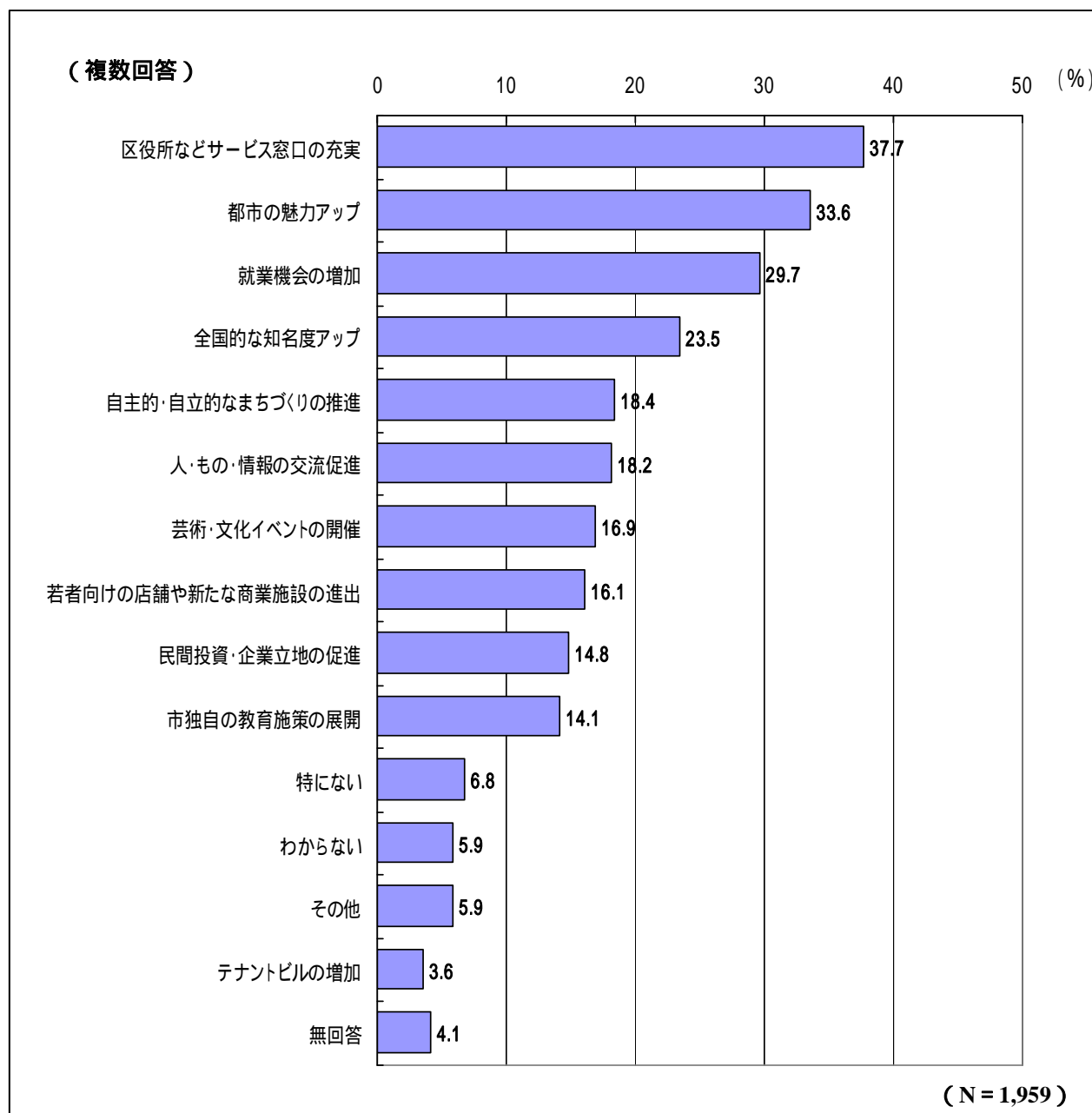
問8 岡山市は平成21年4月1日に政令指定都市に移行しましたが、移行したことを身近に感じることはありますか。(複数回答)



(2) 政令指定都市の移行効果への期待

「区役所などサービス窓口の充実」や「都市の魅力アップ」への期待が大きい

問9 政令指定都市になった岡山市に対し、今後期待することは何ですか。(複数回答)

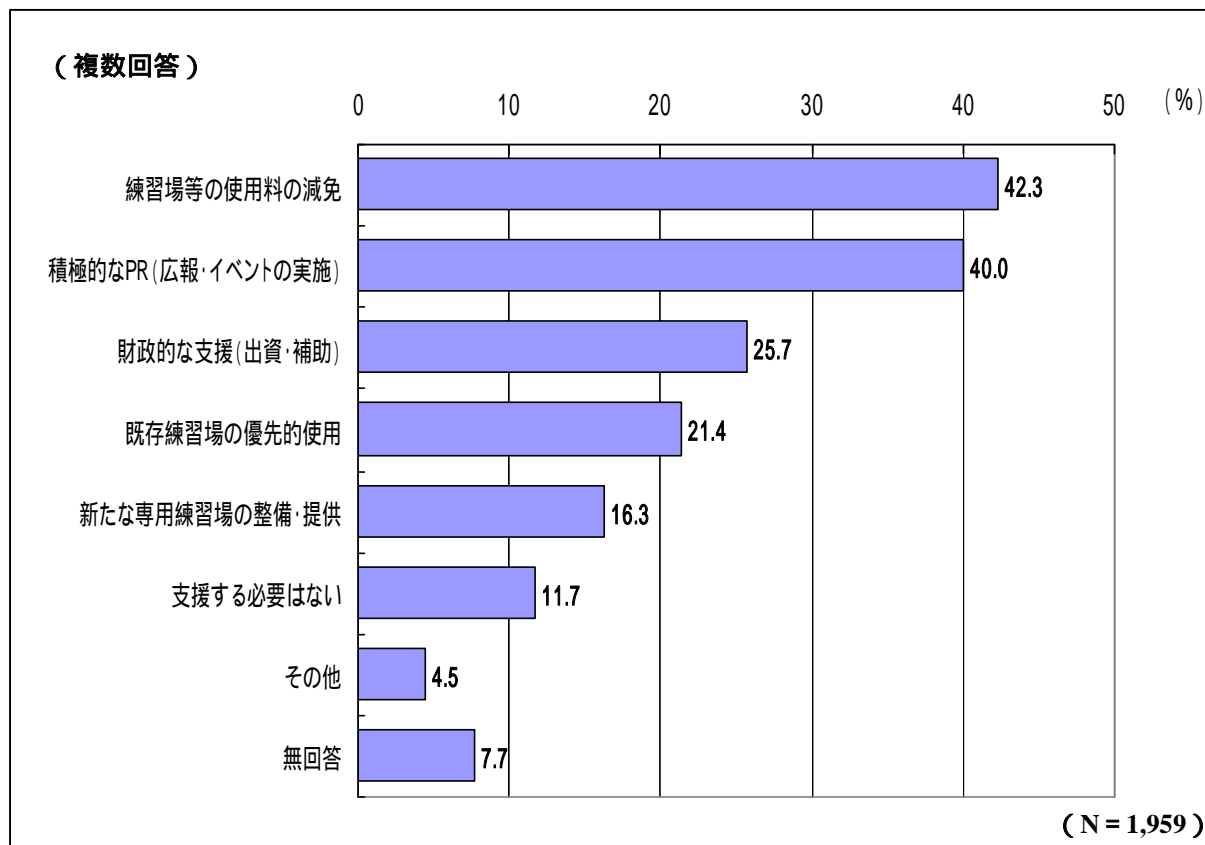


政令指定都市になった岡山市に対し、今後期待することは何かたずねたところ、「区役所などサービス窓口の充実」が最多で37.7%、次いで「都市の魅力アップ」33.6%、「就業機会の増加」29.7%、「全国的な知名度アップ」23.5%と続いている。

第4章 プロスポーツの振興について

プロスポーツ振興のための支援を望む声が多い

問10 今後、岡山市はどのようにプロスポーツ支援を行うのがよいと思いますか。(複数回答)



今後、岡山市はどのようにプロスポーツ支援を行うのがよいかたずねたところ、「練習場の使用料の減免」が最多で42.3%、次いで「積極的なPR(広報・イベントの実施)」40.0%、「財政的な支援(出資・補助)」25.7%、「既存練習場の優先的使用」21.4%と続いている。

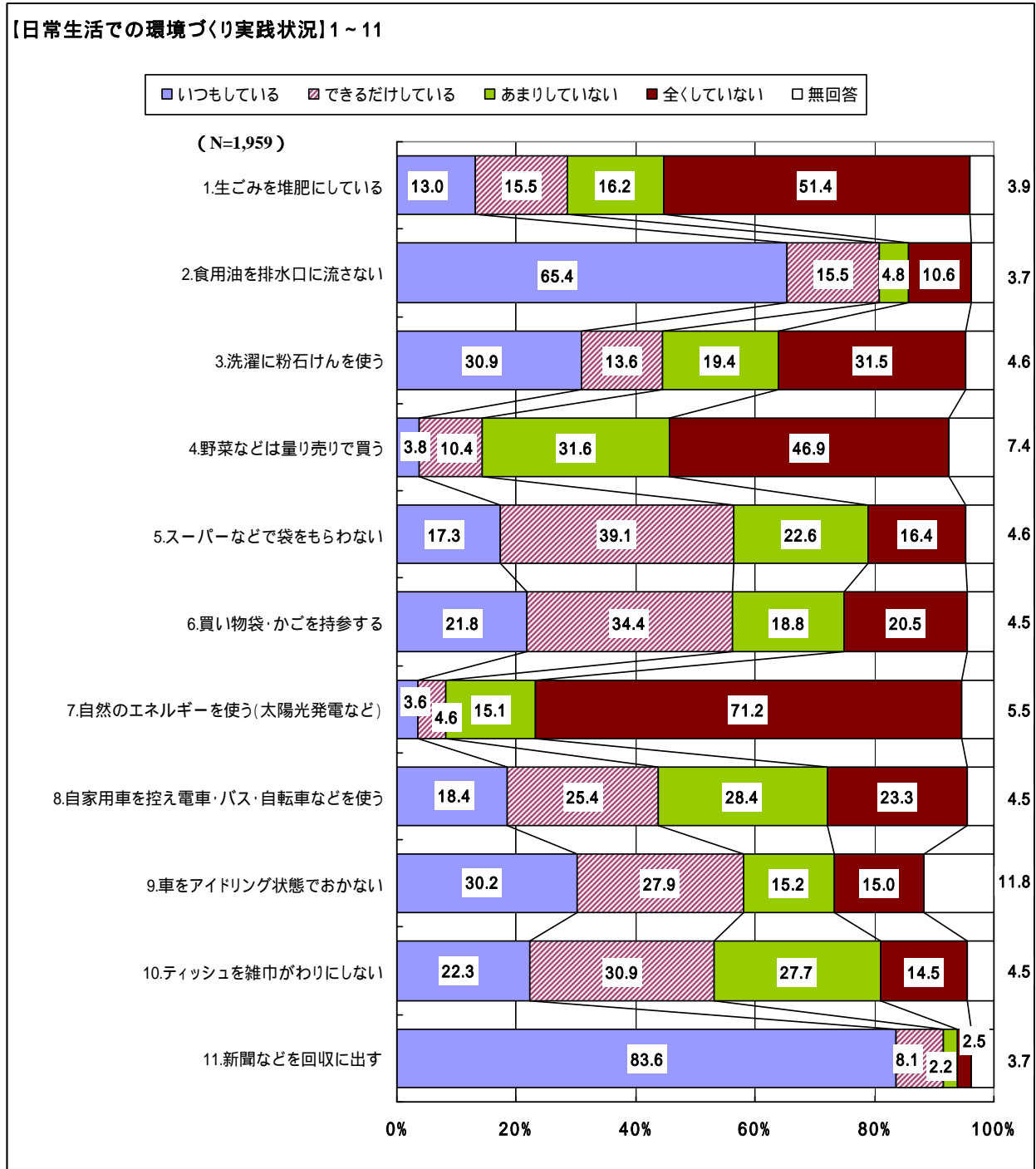
第5章 環境に優しいライフスタイルの実践について

(1) 日常生活の中での環境づくりについて

「空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる」、「新聞などを回収に出す」が8割超

問11 あなたは日常生活の中で環境づくりに関する次のような行動をしていますか。

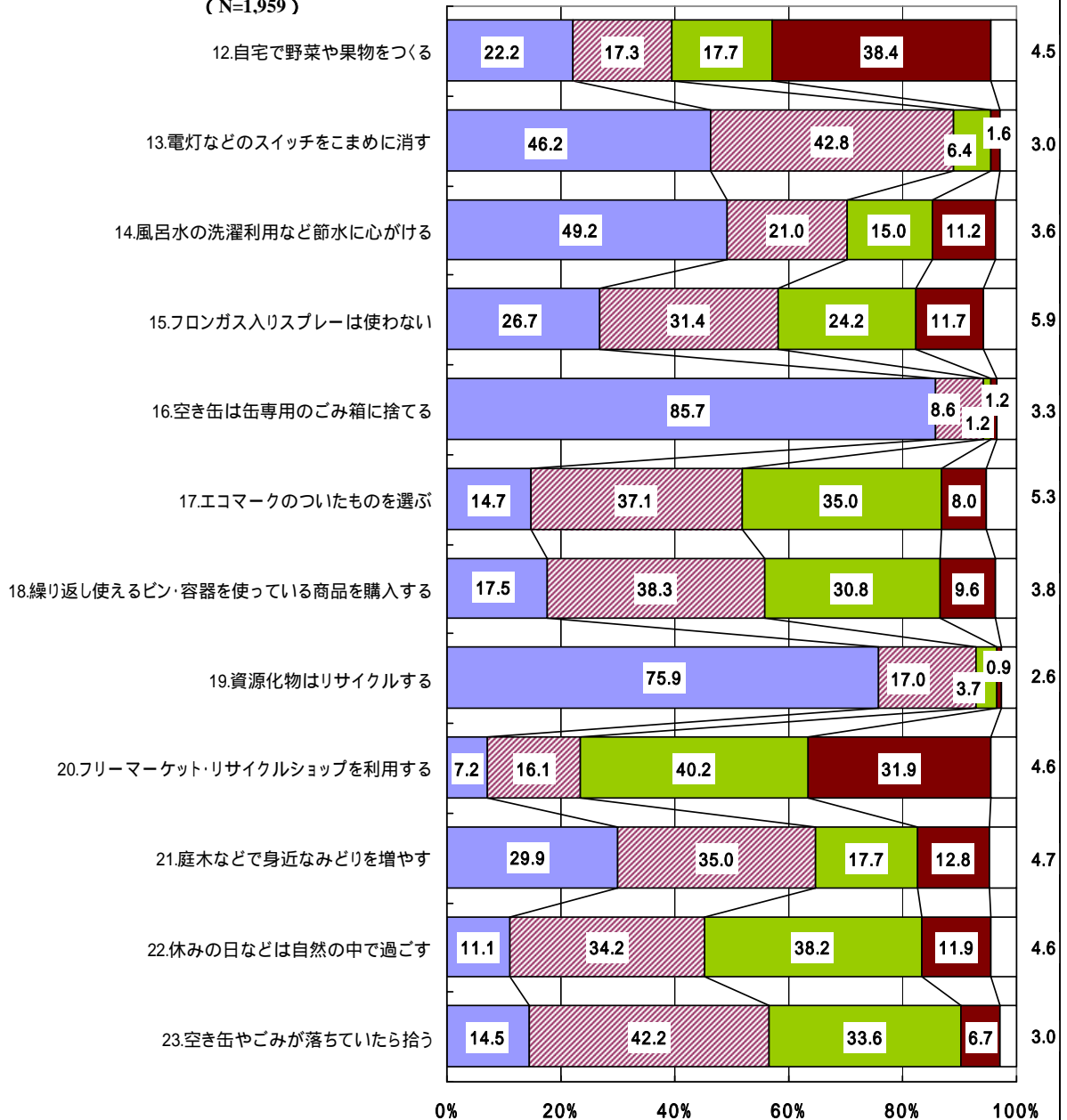
(単数回答)



【日常生活での環境づくり実践状況】12～23

■ いつもしている ■ できるだけしている ■ あまりしていない ■ 全くしていない □ 無回答

(N=1,959)



問 11 「いつもしている」または「できるだけしている」の合計上位 5 位 (単位：%)

	いつも している	できるだけ している	あまりして いない	全くして いない	無回答
空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる	85.7	8.6	1.2	1.2	3.3
資源化物はリサイクルする	75.9	17.0	3.7	0.9	2.6
新聞などを回収に出す	83.6	8.1	2.2	2.5	3.7
電灯などのスイッチをこまめに消す	46.2	42.8	6.4	1.6	3.0
食用油を排水口に流さない	65.4	15.5	4.8	10.6	3.7

「いつもしている」または「できるだけしている」と回答した人は、「空き缶は缶専用のごみ箱に捨てる」の項目が最も多く、合わせて 94.3%であった。

問 11 「全くしていない」または「あまりしていない」の合計上位 5 位 (単位：%)

	いつも している	できるだけ している	あまりして いない	全くして いない	無回答
自然のエネルギーを使う(太陽光発電など)	3.6	4.6	15.1	71.2	5.5
野菜などは量り売りで買う	3.8	10.4	31.6	46.9	7.4
フリーマーケット・リサイクルショップを利用する	7.2	16.1	40.2	31.9	4.6
生ごみを堆肥にしている	13.0	15.5	16.2	51.4	3.9
自宅で野菜や果物をつくる	22.2	17.3	17.7	38.4	4.5

「全くしていない」または「あまりしていない」と回答した人は、「自然のエネルギーを使う(太陽光発電など)」の項目が最も多く、合わせて 86.3%であった。

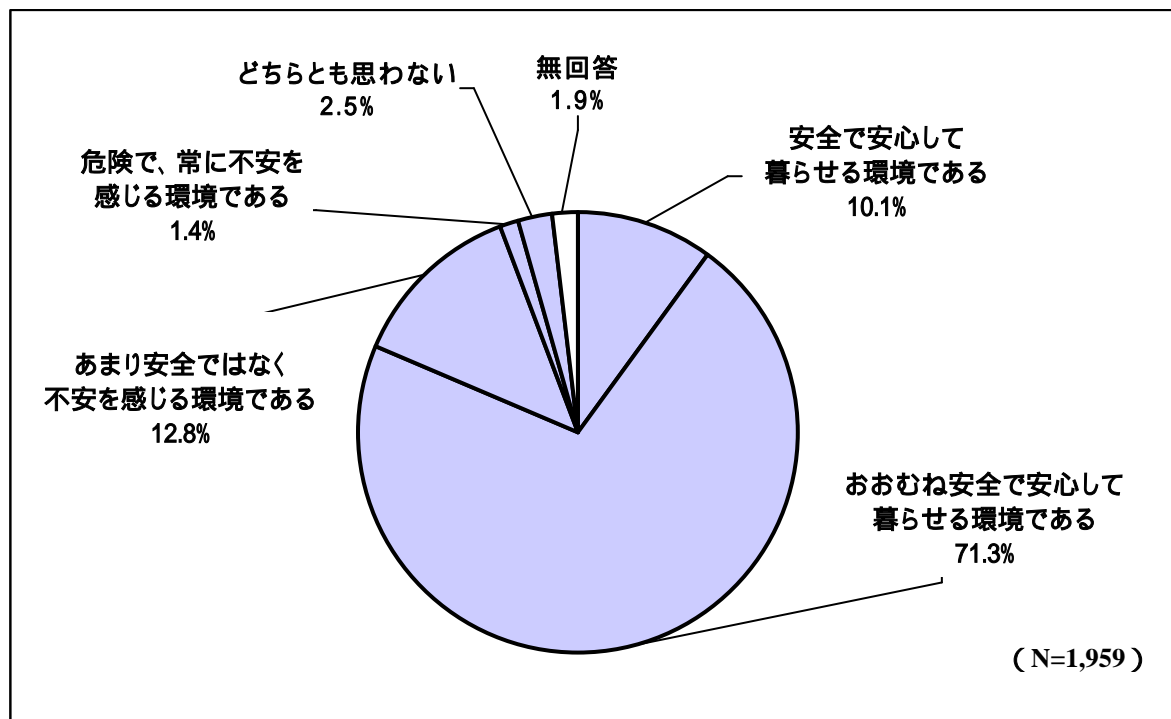
第6章 安全・安心な地域づくりについて

(1) 住んでいる地域の安全・安心環境について

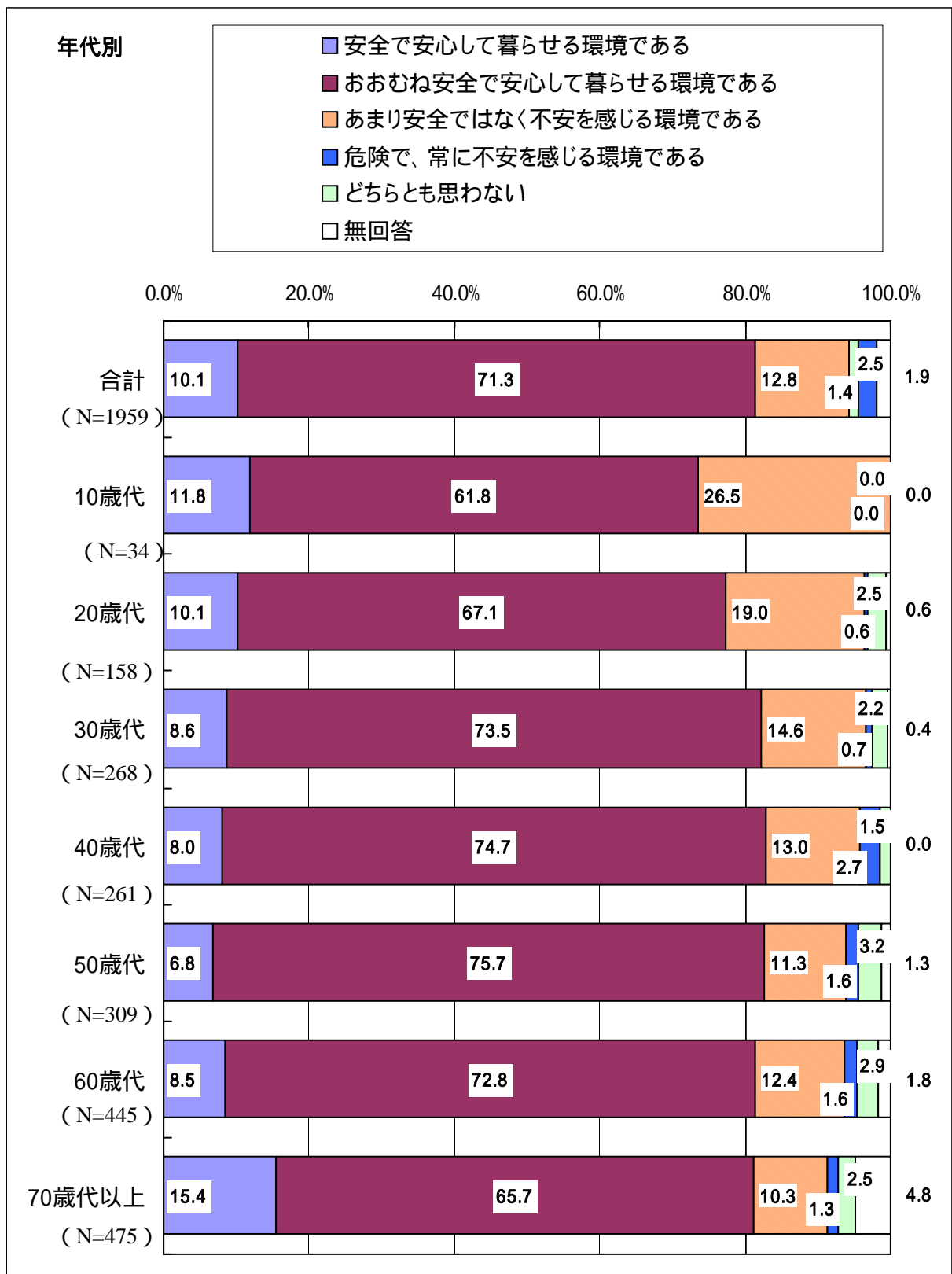
「おおむね安全で安心して暮らせる環境にある」が最も多く 71.3%

問12 あなたの住んでいる地域は、安全で安心して暮らせる環境にあると思いますか。

(単数回答)



「おおむね安全で安心して暮らせる環境である」が71.3%、「安全で安心して暮らせる環境である」が10.1%となっている。反対に、「あまり安全ではなく不安を感じる環境である」が12.8%、「危険で、常に不安を感じる環境である」が1.4%となっている。

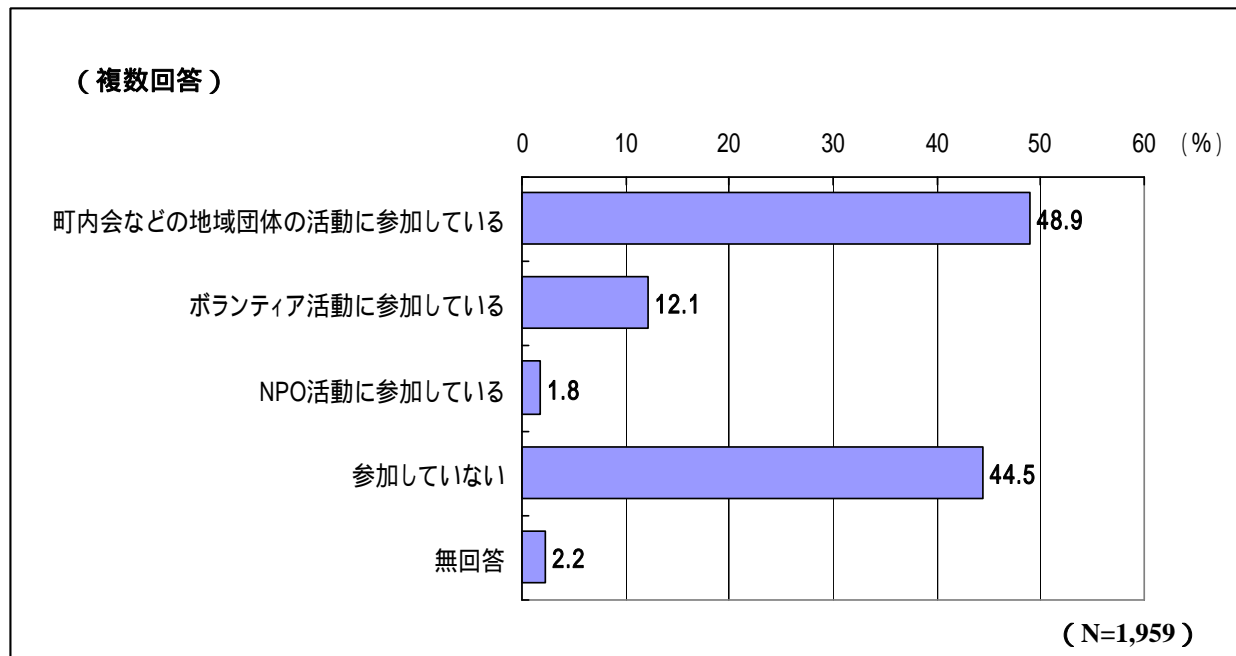


どの年齢階層についても「安全で安心して暮らせる環境である」または、「おおむね安全で安心して暮らせる環境である」と回答した人の割合はほぼ一定である。

(2) 地域活動への参加について

「町内会などの地域団体の活動に参加している」人が 48.9%

問 13 あなたは地域活動に参加していますか。(複数回答)



地域活動に参加しているかたずねたところ、「町内会などの地域団体の活動に参加」が 48.9%、「ボランティア活動に参加」が 12.1%、「NPO 活動に参加」が 1.8%であった。

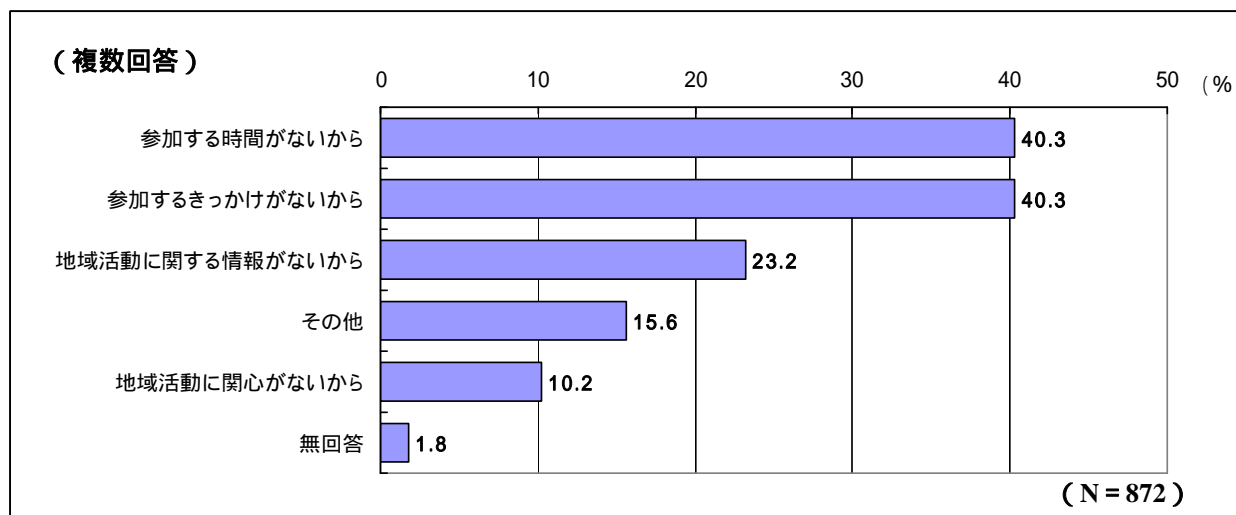
一方、参加していない方が 44.5%、無回答が 2.2%であった。

(3) 地域活動に参加しない理由

地域活動に参加しない理由は、地域づくりに「参加する時間がないから」、「参加するきっかけがないから」

問 13 で「参加していない」と答えられた方におたずねします。

問 13-1 地域活動に参加していない理由はなんですか。(複数回答)



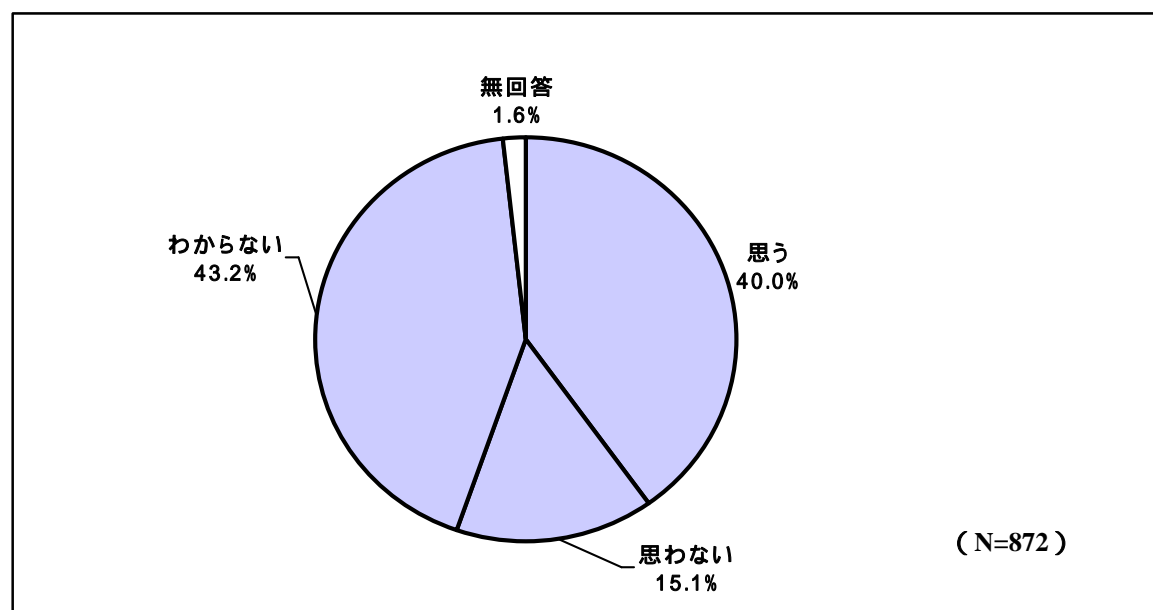
地域活動に参加していない理由をたずねたところ、「参加する時間がないから」(40.3%)、「参加するきっかけがないから」(40.3%)、「地域活動に関する情報がないから」(23.2%)と続く。「地域活動に関心がないから」は10.2%と少数である。

(4) 参加する意思について

「参加してみようと思う」と答えた人が40.0%

問 13 で「参加していない」と答えられた方におたずねします。

問 13-2 条件が整えば、今後地域づくり活動に参加してみようと思いますか。(単数回答)



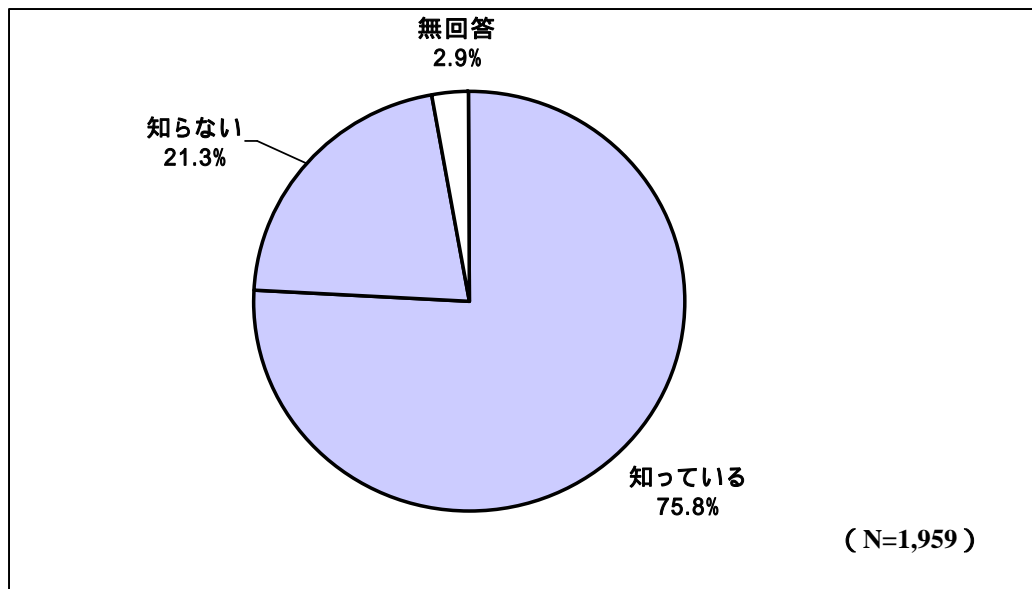
条件が整えば、地域づくり活動に参加してみようと思いますかとたずねたところ、「思う」と答えた人の割合は40.0%。しかし、それ以上に「わからない」と答えた人の割合が43.2%である。

第7章 「住宅用火災警報器」の設置について

(1) 「住宅用火災警報器」を設置する義務についての認識

「知っている」と答えた人が75.8%

問14 消防法が改正され、平成23年5月31日までに住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」を設置することが義務付けられたことを知っていますか。(単数回答)

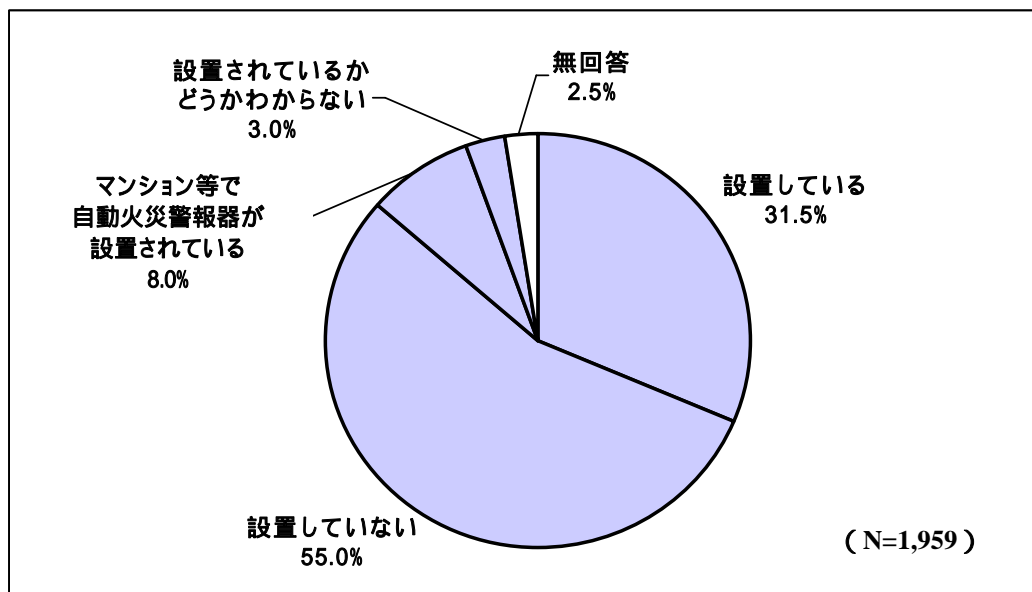


消防法が改正され、住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」を設置する義務についてたずねたところ、「知っている」と回答した人は75.8%となっている。

(2) 自宅への「住宅用火災警報器」の設置状況

「設置している」と答えた人が31.5%

問15 現在、自宅に「住宅用火災警報器」を設置していますか。(単数回答)



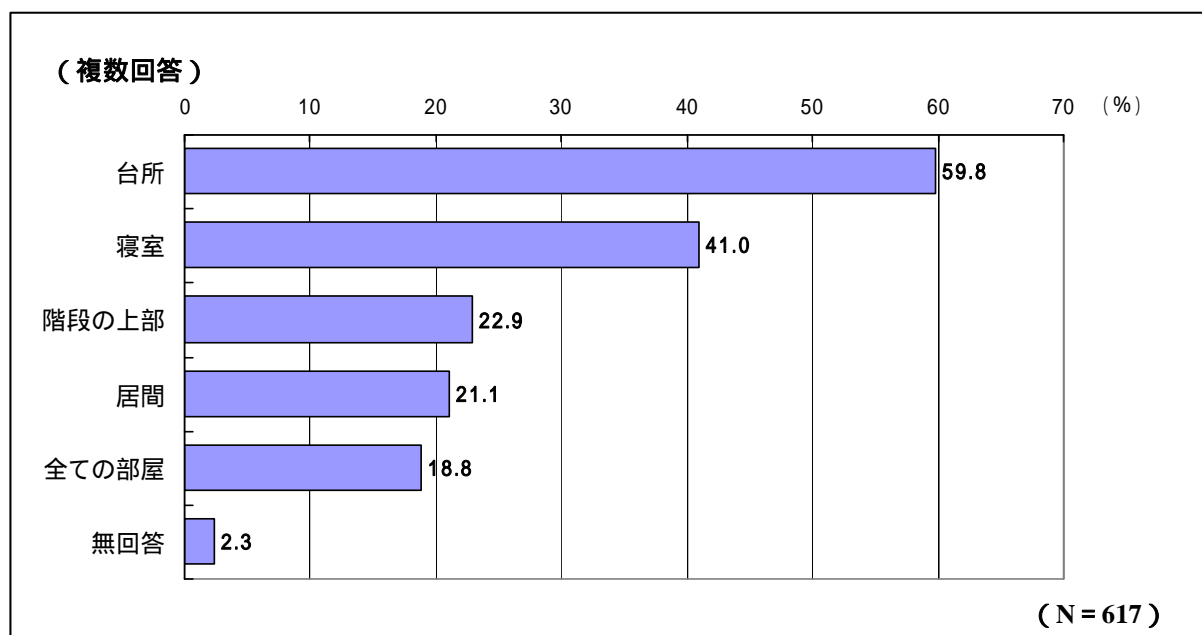
「住宅用火災警報器を設置している」と答えた人は31.5%であり、「設置していない」は55.0%となっている。

(3) 「住宅用火災警報器」の設置場所

「台所」59.8%、「寝室」41.0%、「階段の上部」22.9%

問 15 で「設置している」と答えられた方におたずねします。

問 15-1 どこに設置しましたか。(複数回答)



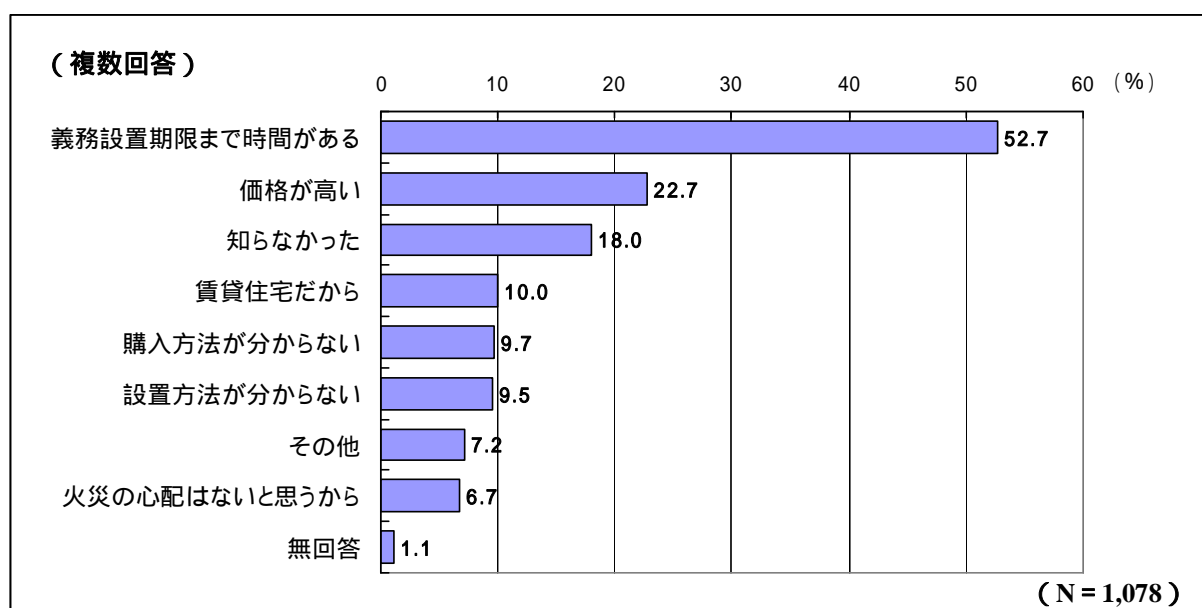
住宅用火災警報器の設置場所についてたずねたところ、「台所」と答えた人が 59.8%、ついで「寝室」41.0%となっている。

(4) 「住宅用火災警報器」を設置しない理由

「義務設置期限まで時間がある」と答えた人が 52.7%

問 15 で「設置していない」と答えられた方におたずねします。

問 15-2 設置していない理由は何ですか。(複数回答)

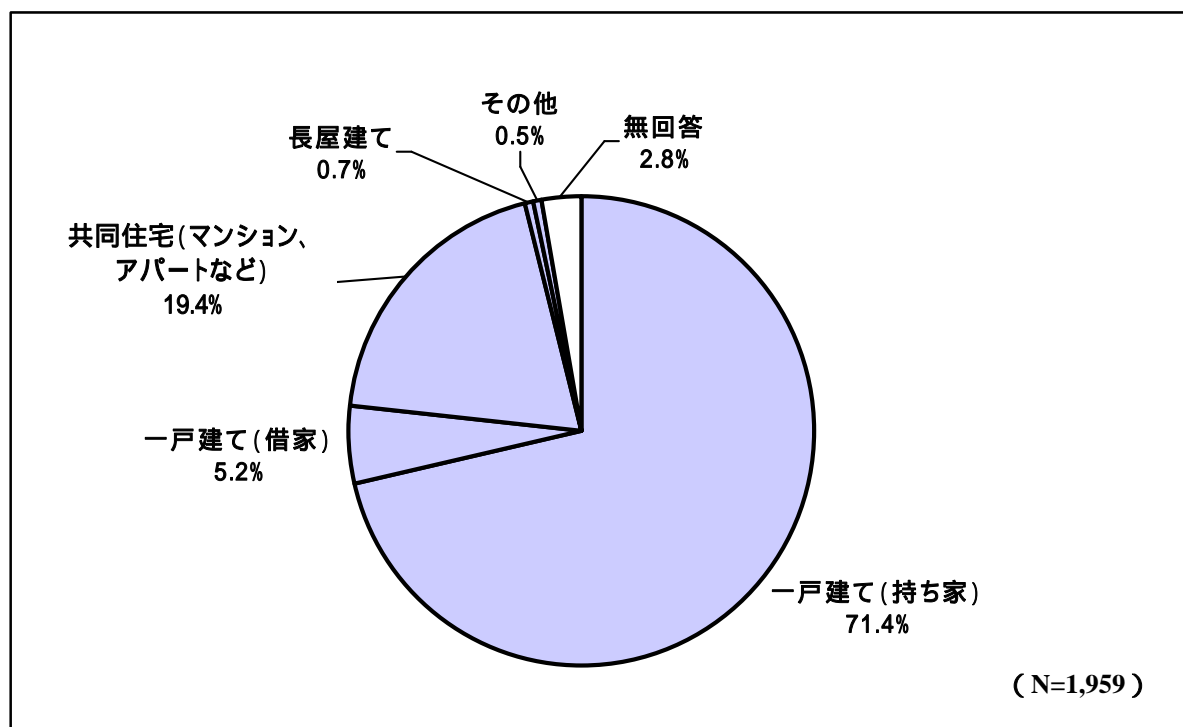


設置していない理由をたずねたところ、「義務設置期限まで時間がある」が 52.7%で最多であり、次に「価格が高い」(22.7%)、「知らなかった」(18.0%)と続いている。

(5) 住宅の建て方について

「一戸建て」と答えた人が76.6%

問16 お住まいの住宅の建て方は、どれに該当しますか。(単数回答)

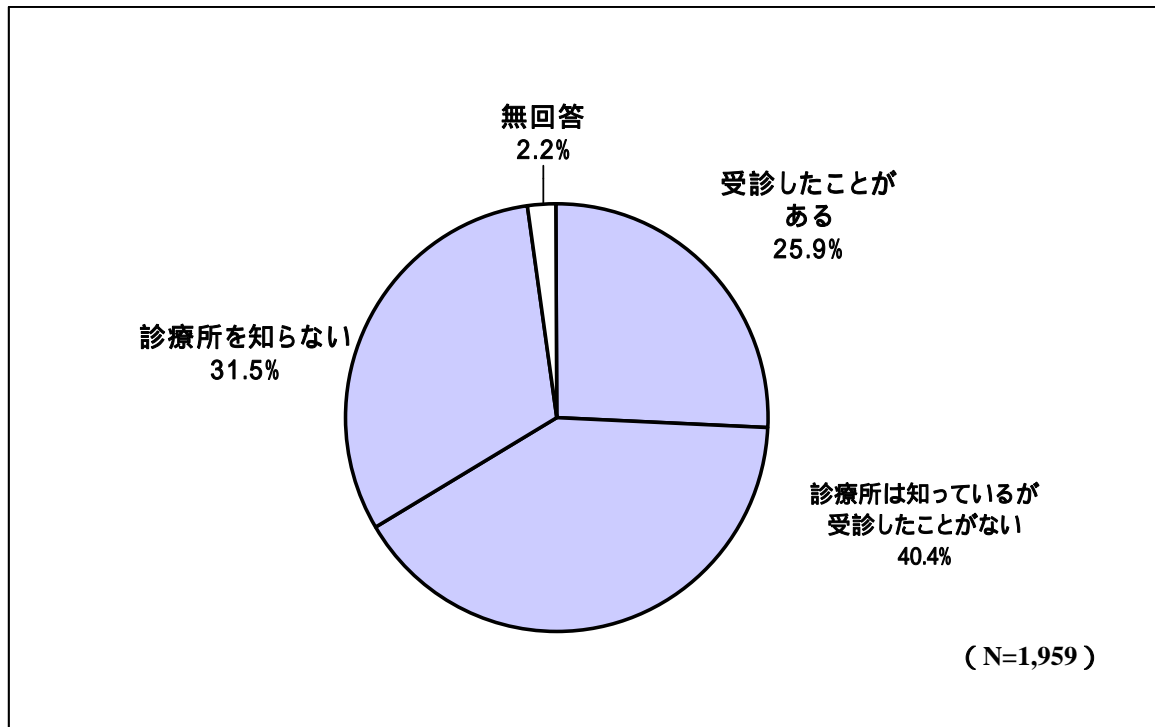


住宅の建て方は持ち家と借家を合わせた一戸建てが76.6%となる。

第8章 休日夜間の診療について

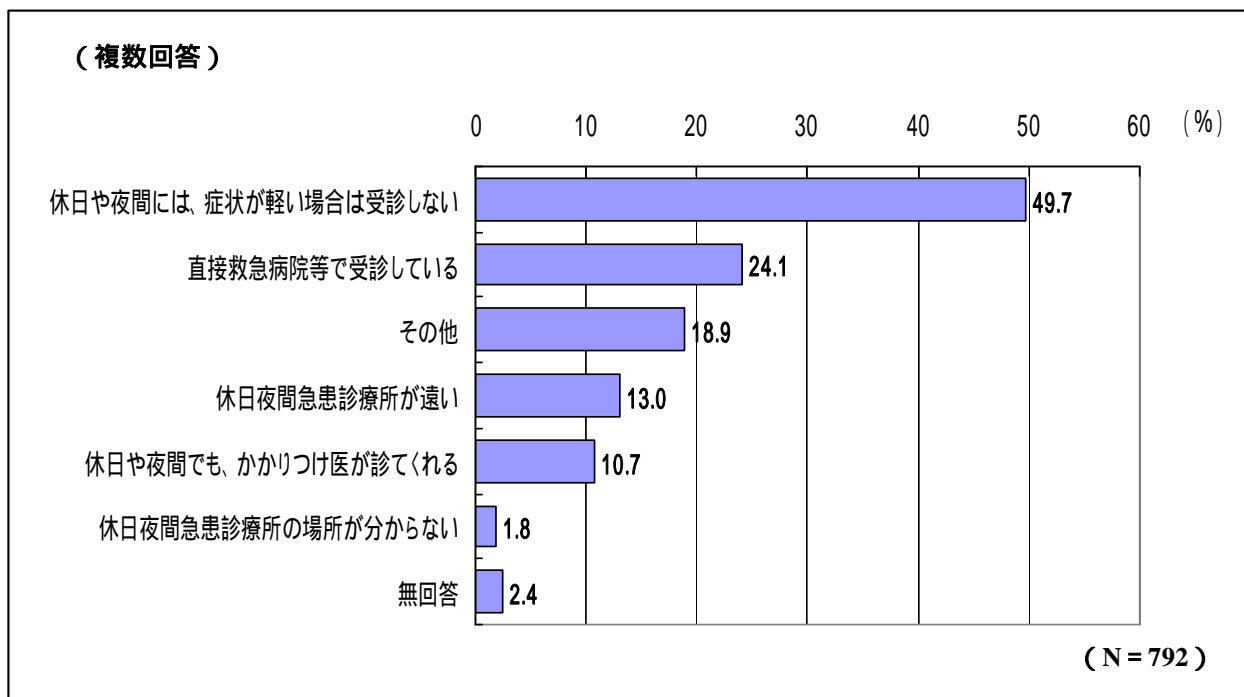
「受診したことがある」人が 25.9%

問 17 岡山市休日夜間急患診療所(岡山市立市民病院別館 1階)で受診したことがありますか。
(単数回答)



岡山市休日夜間急患診療所で「受診したことがある」は 25.9%であり、その存在を知っている割合は全体の約 3分の2 の 66.3%である。

問 17 で「診療所は知っているが受診したことがない」と答えられた方におたずねします。
問 17-1 受診しない理由はなんですか。(複数回答)



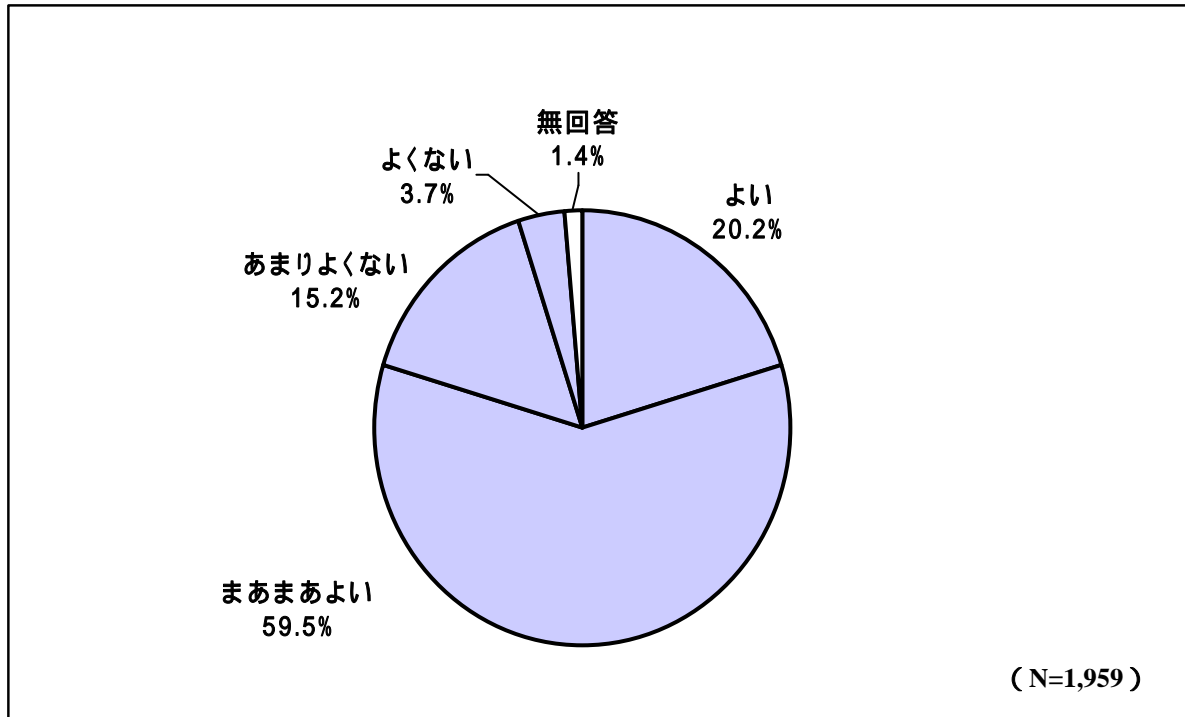
受診しない理由をたずねたところ、「休日や夜間には、症状が軽い場合は受診しない」(49.7%)、「直接救急病院等で受診している」(24.1%)となっている。

第9章 健康づくりについて

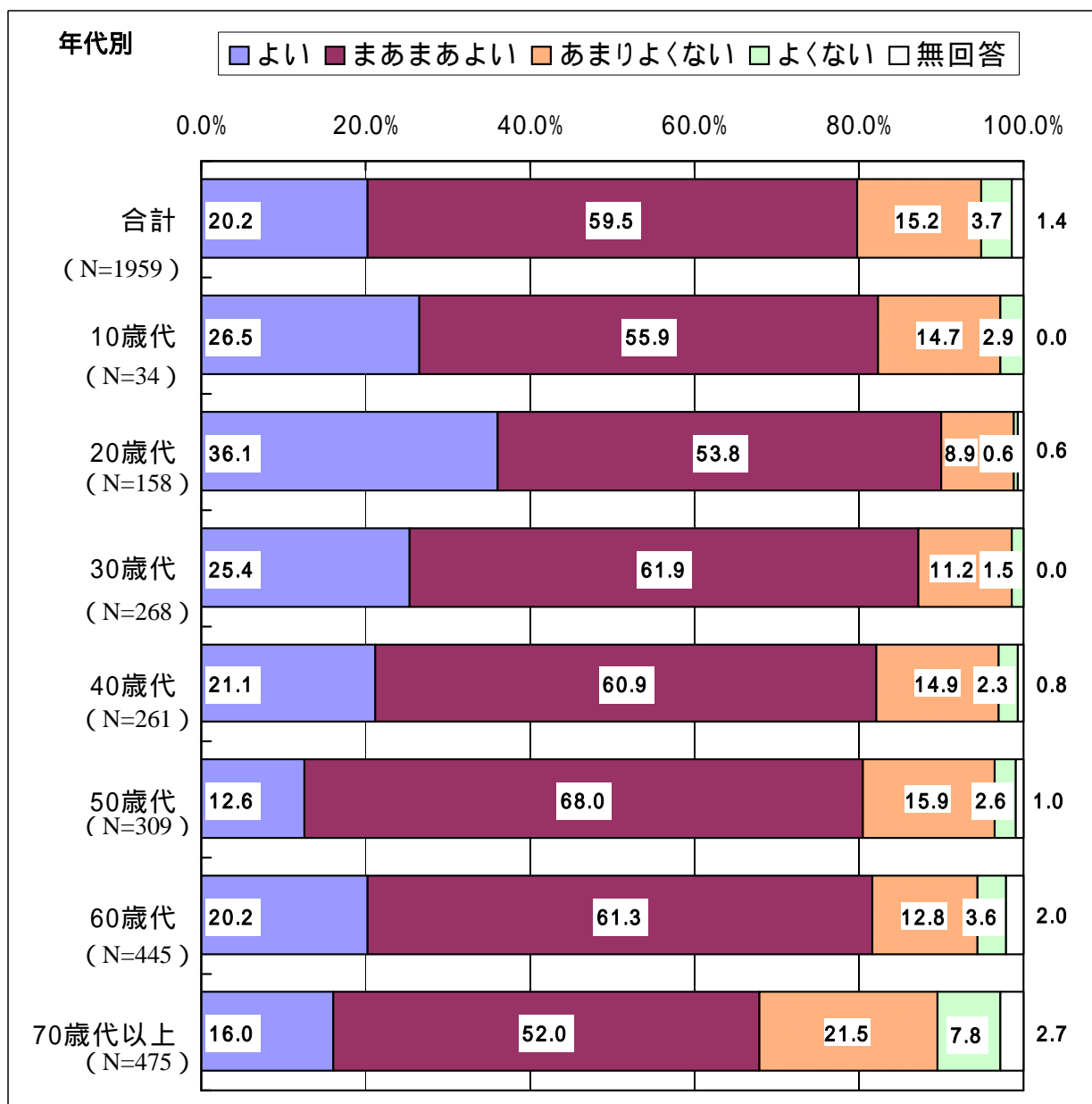
(1) 現在の健康状態について

「よい」 または 「まあまあよい」と答えた人が79.7%

問18 現在の健康状態をどのように感じていますか。(単数回答)



現在の健康状態を「よい」と回答した人の割合は20.2%で、「まあまあよい」は59.5%となっている。

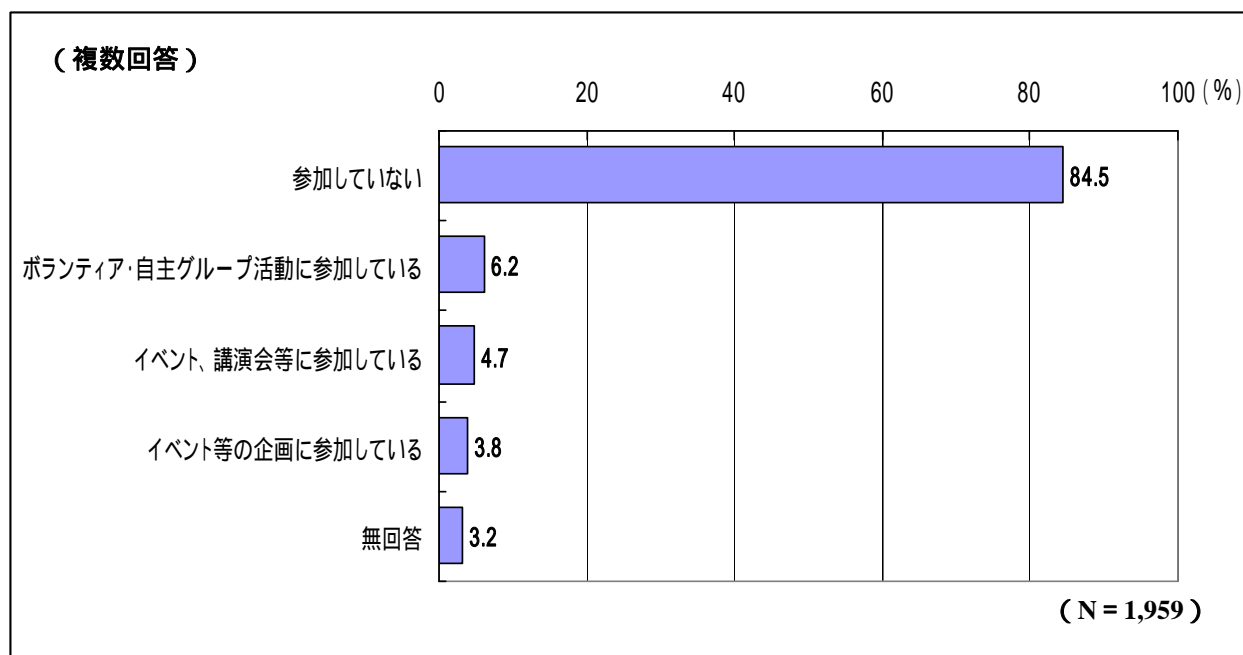


年齢階層別にみると、70歳代以上で「あまりよくない」または「よくない」と回答した人の割合が29.3%となっている。

(2)「健康づくり運動」への参加について

「参加していない」人が 84.5%

問 19 地域で行われている「健康づくり運動」に参加していますか。(複数回答)



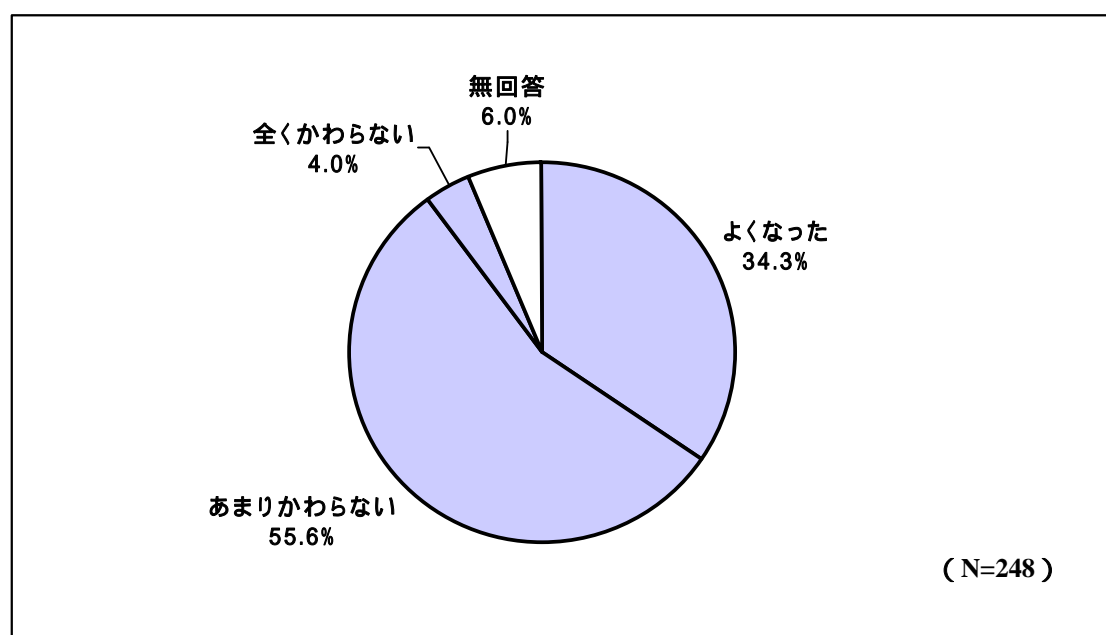
「健康づくり運動」に参加しているかたずねたところ、「参加していない」と回答した人の割合は 84.5%となっている。

(3)「健康づくり運動」に参加した後の健康状態について

「よくなった」人が 34.3%

問 19 で「健康づくり運動」に「参加している」と答えられた方におたずねします。

問 19-1 「健康づくり運動」に参加して健康状態はどのように変わりましたか。(単数回答)



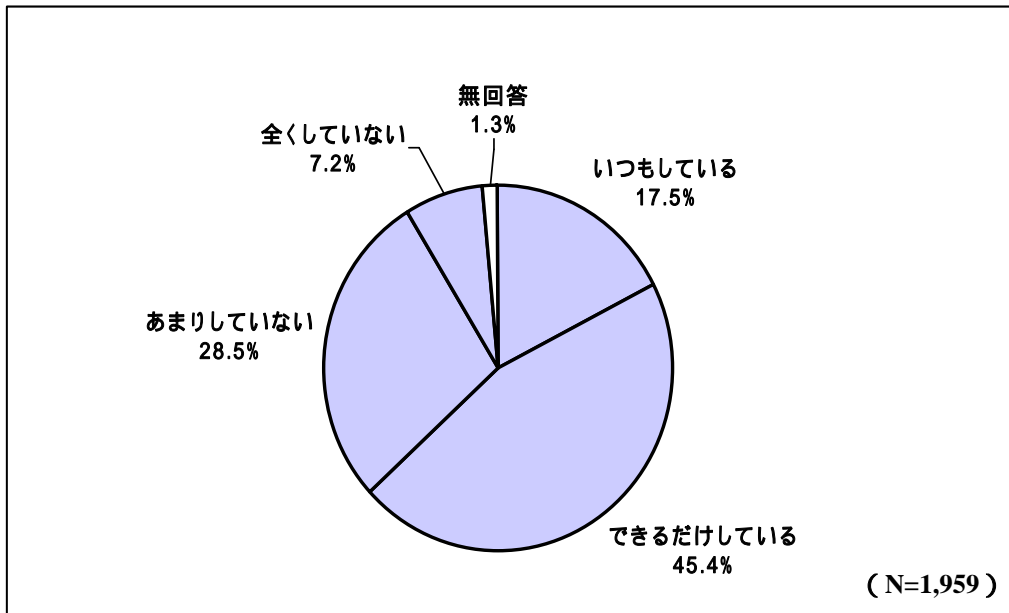
「健康づくり運動」に参加して健康状態はどのように変わりましたかとたずねたところ、「よくなった」と回答した人の割合は 34.3%となっている。

第10章 地産地消の推進について

(1) 岡山産の野菜・果物などの購入意識について

「いつもしている」または「できるだけしている」人が62.9%

問20 あなたは野菜や果物などを購入するとき、岡山産を意識しますか。(単数回答)

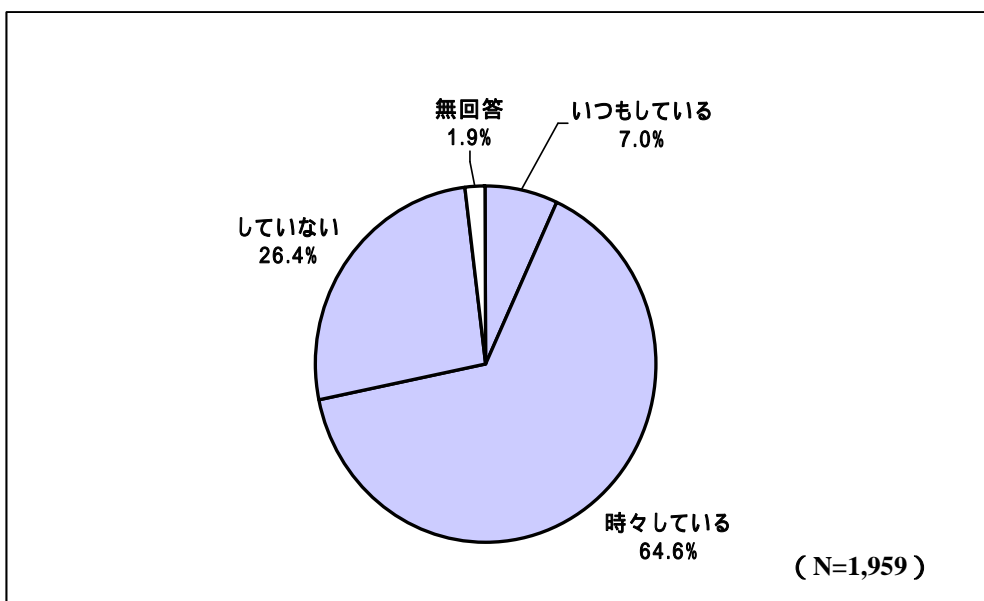


野菜や果物を購入するとき、岡山産を意識しているかたずねたところ、「いつもしている」と回答した人は17.5%、「できるだけしている」は45.4%で、合わせると、62.9%の人が意識している。

(2) 農産物直売所や産直市での買い物について

「いつもしている」または「時々している」人が71.6%

問21 あなたは農産物直売所や産直市で買い物をしますか。(単数回答)

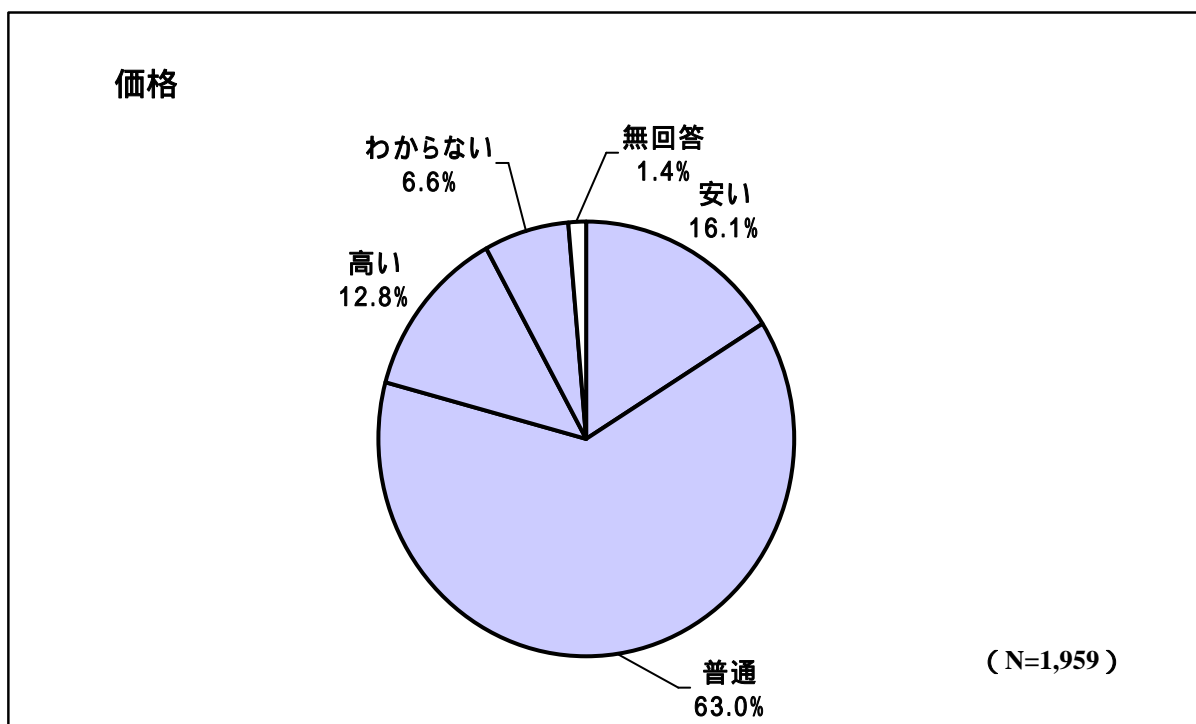
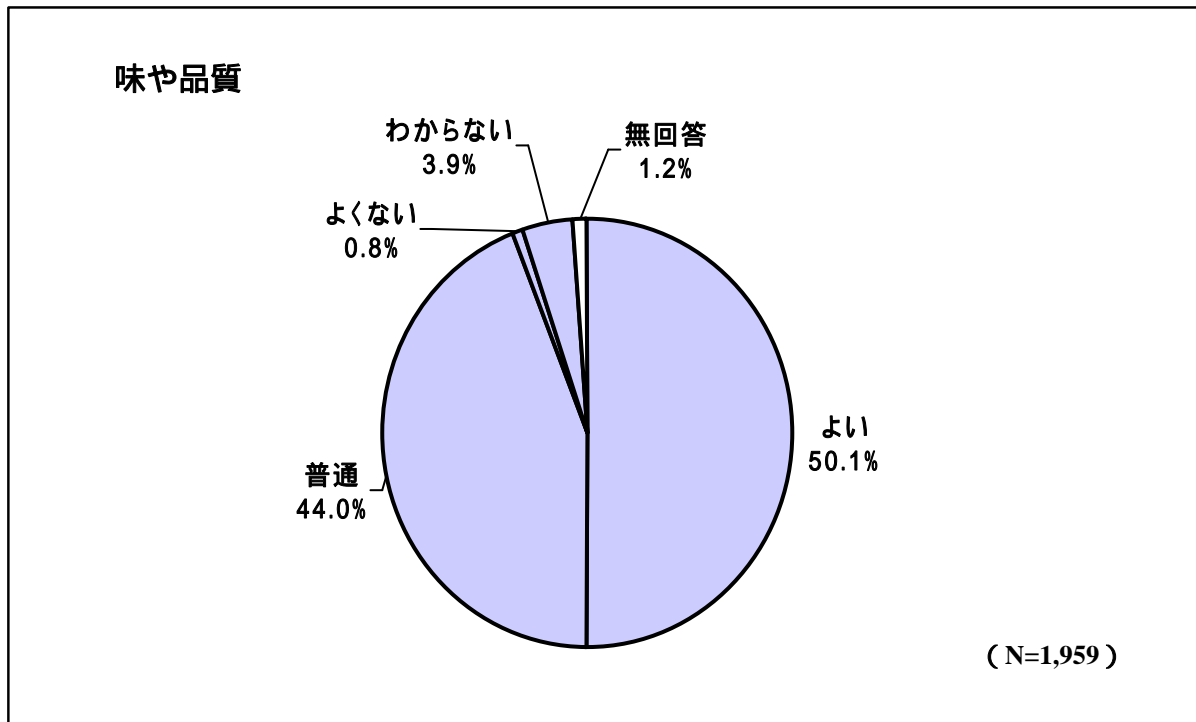


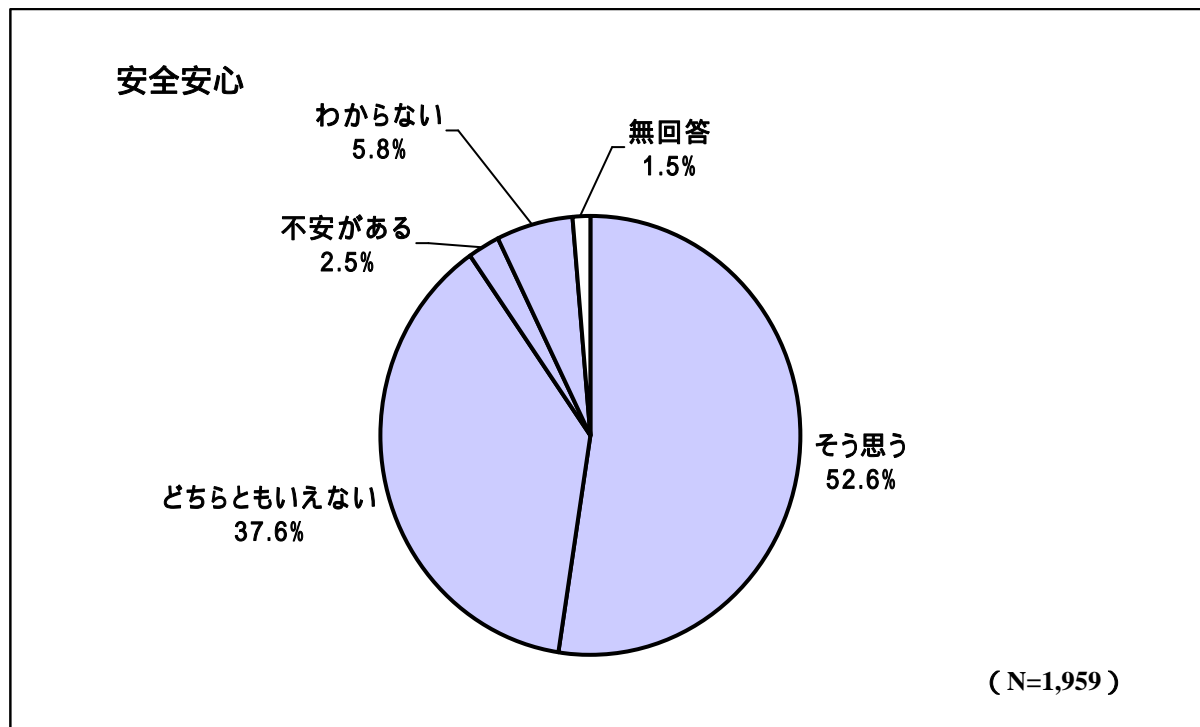
農産物直売所や産直市で買い物をしているかたずねたところ、「いつもしている」と回答した人の割合は、7.0%、「時々している」は64.6%で、合わせると71.6%となっている。

(3) 岡山産の野菜・果物などのイメージ

岡山産は「味や品質」が良い、「安全安心」という良いイメージを持っている人が過半数

問 22 岡山産の野菜や果物などに対し、どのようなイメージを持っていますか。(単数回答)





岡山産は「味や品質」が「よい」(50.1%)、「安全安心」(52.6%)と良いイメージを持っている人が多い。

一方、価格については「安い」(16.1%)、「高い」(12.8%)に対し、普通(63.0%)という評価が多い。